

(様式)

令和7年度 高校生防災アクション計画・報告書		学校名	岐阜県立各務原高等学校		
1・目標					
ホームルーム活動及び全校企画での取り組みを通じて、災害時における自助・共助の重要性を理解し、防災や減災に対する意識を高め、適切な行動がとれる能力を身につける。					
2・異なる危険を想定した年間3回以上の命を守る訓練 ※行が不足する場合は追加をすること。					
回	年月日	想定する危険	実施内容	参加人数	
1	計画	令和7年4月21日	地震・安否確認	全校一斉の避難行動の確認	生徒・職員 612名 その他 () 名
	実施	令和7年4月21日	地震・安否確認	全校一斉の避難行動の確認	生徒・職員 596名 544.52 その他 () 名
2	計画	令和7年5月22日	地震・火災	シェイクアウト訓練・避難訓練	生徒・職員 612名 その他 () 名
	実施	令和7年5月22日	地震・火災	シェイクアウト訓練・避難訓練	生徒・職員 601名 550.51 その他 () 名
3	計画	令和7年10月30日	火災	予告なしの避難訓練・消火器の扱い方	生徒・職員 607名 556.51 その他 () 名
	実施	令和7年10月30日	火災	予告なしの避難訓練・消火器の扱い方 洪水時の避難について	生徒・職員 563名 516.47 その他 () 名
3・防災に関する主な取組の計画 ※防災教育に関する講話・授業・行事等の実施月と内容について簡潔に記入してください。					
(1) 総合的な探究の時間(2年生):防災をテーマとして選択した探究活動の成果発表 12月					
(2) 減災力テスト:5月に一回目実施、11月に二回目実施					
(3) 教科保健:安全な社会の形成において自助・共助の重要性を学習し防災意識を高める。5月					
(4) 地理総合(1年生 1月)、地理探究(2年生 10月):ハザードマップを使い避難行動を考察させたり、実際自然災害のあった場所をタブレットで調べ、地形からなぜ起きたのか考察させたりする。					
(5) 命を守る訓練時に防災リーダー(HR委員)の目線で防災行動を捉えさせ、災害時には率先避難者として危険回避行動がとれる能力を育てる。5.10月					
4・防災に関する主な取組の報告 ※誰が、誰と、何をしたかを具体的に記入してください。					
(1) 総合的な探究の時間(2年生)において、3グループが防災をテーマに探究活動を行い、その成果をクラス発表した。震災後の避難生活に備え、段ボールベット、段ボールトイレ、プライバシー保護のためのパーテーションなど、必要な物品を作成して生徒へ啓発した。					
(2) 教科保健の内容で、習得した知識に基づいて周囲の状況を的確に判断して、迅速に適切な行動を選択することの重要性を理解した。自分に都合よく状況を捉える「正常性バイアス」や周囲の人の様子に影響されたりする「多数派同調バイアス」を学び、自助(自分や家族の命を守る)・共助(周囲の人々と協力して助け合う)の考えのもと行動することが、結局多くの命が救われることを知った。					
(3) 地理探究(2年生)で、地理院地図を活用し、過去に水害被害のあった千葉県佐倉市豪雨災害(令和元年)を題材になぜ起こったのか地形から考察をさせた。					
(4) 地理総合(1年生)でハザードマップを用意して被災した場合どう避難するか、判断する時に何に気を付けたらよいかを考えさせた。					
(5) 2.3回目の命を守る訓練では、防災リーダー(30名)に「振り返りシート」を配付し、生徒目線から避難の様子を捉えさせ、改善点や次回訓練への提案をもらった。					
(6) 厚生委員による学校安全チェックを岐阜県防災教育月間中に実施した。教職員だけでなく、生徒目線での点検で、防災意識を深めることができた。					
					
連携した組織など	<input type="checkbox"/> PTA <input type="checkbox"/> 幼稚園・保育園 <input type="checkbox"/> 小学校 <input type="checkbox"/> 中学校 <input type="checkbox"/> 大学・専門学校 <input checked="" type="checkbox"/> 市役所・町村役場 <input checked="" type="checkbox"/> 消防署 <input type="checkbox"/> 病院等医療機関 <input type="checkbox"/> 警察署 <input type="checkbox"/> 气象台・気象庁 <input type="checkbox"/> 防災・減災センター <input type="checkbox"/> 防災士会 <input type="checkbox"/> 企業・NPO法人() <input type="checkbox"/> その他()				
減災力テスト	回	平均点	実施学年	備考	
	1	43.96点	<input checked="" type="checkbox"/> 1年生 <input checked="" type="checkbox"/> 2年生 <input type="checkbox"/> 3年生 <input type="checkbox"/> 4年生	5/7.19実施	
	2	44.13点	<input checked="" type="checkbox"/> 1年生 <input checked="" type="checkbox"/> 2年生 <input type="checkbox"/> 3年生 <input type="checkbox"/> 4年生	11/5.11/12実施	
成果と課題	・分掌だけでなく、各教科や探究活動も含め、いろいろな側面から取り組んでいることが分かった。防災意識の高まりが一部の生徒だけに止まらず、多くの生徒に波及することが大切である。生徒目線の安全点検や振り返りシートから感じている課題を参考に、改善点を見つけ出し防災意識の醸成をしていきたい。 ・減災力テストより「地震から命を守る」「地震直後の対応」「命を守る情報収集や判断」については、概ね理解ができていると想定できるが、「災害から命を守る近所付き合い」では殆どできていないので。自治体や地域の連携が必要である。				

※網掛けの項目については、報告の際に記入をしてください。計画書・報告書のページ数に制限は設けません。行が不足する場合は、適宜追加してください。図、写真の貼付や報告書に加えて資料等を添付していただいても構いません。その場合は個人情報・肖像権等に配慮願います。